若い力が躍動!! 福井県立勝山高等学校特集！

校訓「まこと」真・誠・信

県立勝山高等学校では現在、全学年合わせて12クラス404人が学舎に通学しています。

勉強に部活動などにめざましい活躍をしている生徒がたくさんいます。

今回は、そんな生徒達をクローズアップし紹介をしていきます。

さらに、先日行われた体育祭・文化祭を取り上げ現在の「勝高」を紹介していきます。

全国高校学校体育大会（インターハイ）で大活躍!!（8月6日～11日）

京都府長岡京市で行われたインターハイのバドミントン競技で山口茜選手が、大会3連覇となる個人優勝を成し遂げました。また、女子ダブルスで鈴木咲貴・山口茜選手が準優勝、さらに、団体で3年連続3位となりました。

女子個人で3連覇を果たした山口茜選手

女子ダブルスで準優勝となった鈴木・山口ペア

勝山市長に成績を報告

勝高での報告会

高校生模擬裁判選手権―中部・北陸大会―優勝

日弁連が主催する高校生模擬裁判選手権中部・北陸大会で勝高チームが優勝しました。

殺人事件をテーマに検察側と弁護側に分かれて対戦を行う形式で実施され、理論構成、表現力などが審査員に認められました。

県大会・本大会とも勝高出身の石倉弁護士の指導を受け、5人の力を出し切った成果が出ました。

模擬裁判の様子

勝高チームの5人

全国高等学校総合文化祭で大活躍!!

7月28日～8月1日に滋賀県で開催された、全国高等学校総合文化祭に2個人（県選抜チームの一員）と1団体が参加し、素晴らしいパフォーマンスを行いました。

郷土芸能部門

伝承曲・創作曲を含む「和太鼓」のコンクール形式の大会です。

昨年、高校生太鼓甲子園で特別賞受賞の日本文化部が「真夏の左義長」を演奏しました。入賞には至りませんでしたが、本番では素晴らしい演奏を披露しました。

小倉百人一首・かるた部門

各都道府県の代表チームが、二日間にわたり熱闘を繰り広げました。「畳の上の格闘技」とも呼ばれる、競技かるたの福井県選抜チームの一員として北内郁さんが出場し第3位の輝かしい成績を収めました。

北内 郁さん

吟詠剣詩舞部門

漢詩や和歌を独特の節回しを用いて吟じる「詩吟」と剣や扇を使って舞う「剣舞」、扇を使って舞う「詩舞」で構成されます。福井県選抜チームの一員として前川真実花さんが華麗な演舞を披露しました。

前川真実花さん

第56回北陸吹奏楽コンクール金賞

8月7日に石川県金沢市で行われた北陸吹奏楽コンクールに、12年ぶりに福井県代表として出場し、初の金賞を獲得しました。

笑顔の吹奏楽部メンバー

駐大阪・神戸米国総領事来県に関する交流会

7月23日に駐大阪・神戸米国総領事アレン・グリーンバーグ氏が福井県恐竜博物館を訪れ、勝高1年生3人が、勝山市の特色と魅力について英語で紹介しました。

“We are proud of my town, my city!”

第68回勝高祭 勝高超上決戦～友情と努力が見せる奇跡～

9月2日～4日にかけて勝高祭が行われました。

文化祭では、文化部の発表や生徒会企画や職員劇など盛りだくさんの出し物や展示があり充実の文化祭でした。

市民会館でのステージ

体育祭では、4つのチームに分かれ伝統の棒倒しをはじめとする12の競技や応援合戦など、熱戦を繰り広げました。

気合いの入った応援合戦

勝山高校の生徒たちは、緑に囲まれた豊かな自然環境の中、静かに落ち着いた雰囲気で学習や部活動などに一生懸命取り組み、各分野ですばらしい活躍をしています。

これからも勝山市のただ一つの高校として、「地域に愛される」「地域に誇りにされ期待される」「支えられる学校」であるよう、生徒・教職員一同頑張って参ります。

今後とも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いします。

勝山高等学校 校長 笹岡俊男

笹岡校長の発案で、生徒玄関入り口に「栄光の軌跡」と題し、勝高生が載っている新聞記事のスクラップが掲示されています。生徒たちに大変好評です。